



(別添)

2024年11月28日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中国支所

News Release

ホコリも積もれば事故となる

～ 年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく ～

— 中国 5 県版 —

大掃除を行うこの機会に配線器具周りも掃除するとともに、使い方や設置状況などに問題がないか改めて確認しましょう。大掃除のときだけでなく、日頃の生活でも意識するようお願いします。

■配線器具の事故を防ぐためのお掃除ポイント

- 電源プラグ及び電源タップは小まめに掃除し、水分がかからないようにする。
- 電源プラグが変形していないか確認する。
- 電源コードを引っ張る、机や椅子の脚で踏むなど、無理な力が加わった形跡を確認する。
- 接続可能な最大消費電力を超えて使っていないか確認する。
- 異常発熱や異臭など、異変を見つけたら直ちに使用を中止する。

1. 事故の発生状況

NITE(ナイト)が受け付けた製品事故情報^{※1}のうち、配線器具^{※2}の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2019年度から2023年度までの5年間に11件発生しており、発生状況は以下のとおりとなっています。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含みます。

(※2) コンセント、マルチタップ、延長コード及びテーブルタップを対象としています。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」の配線器具に関する事故発生件数を示します。

表1 「年別・県別」配線器具に関する事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2019年度				2	1	3
2020年度				1		1
2021年度			1	3		4
2022年度						
2023年度	1		1	1		3
合計	1		2	7	1	11

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」の配線器具に関する事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」配線器具に関する事故発生件数

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡				1		1
	重傷						
	軽傷				1		1
物的被害	拡大被害			1	5	1	7
	製品破損	1		1			2
被害なし							
合計		1		2	7	1	11

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」の配線器具に関する事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」配線器具に関する事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの					1	1
B：製品及び使い方に問題があったもの						
C：経年劣化によるもの						
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの						
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						
E：誤使用や不注意によるもの						
F：その他製品に起因しないもの				1		1
G：原因不明のもの（G3を除く）			2	5		7
H：調査中のもの	1			1		2
合計	1		2	7	1	11

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生した、配線器具の主な事故事例を示します。

○テーブルタップの事故事例

2019年10月（広島県、60歳代・男性、死亡）

【事故の内容】

テーブルタップ付近から出火して、住宅を全焼し、1人が死亡した。

【事故の原因】

マルチタップ内部の異極間でトラッキング現象が生じて出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。

○延長コードの事故事例

2020年 2月（山口県、30歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

延長コード及び周辺を焼損する火災が発生した。

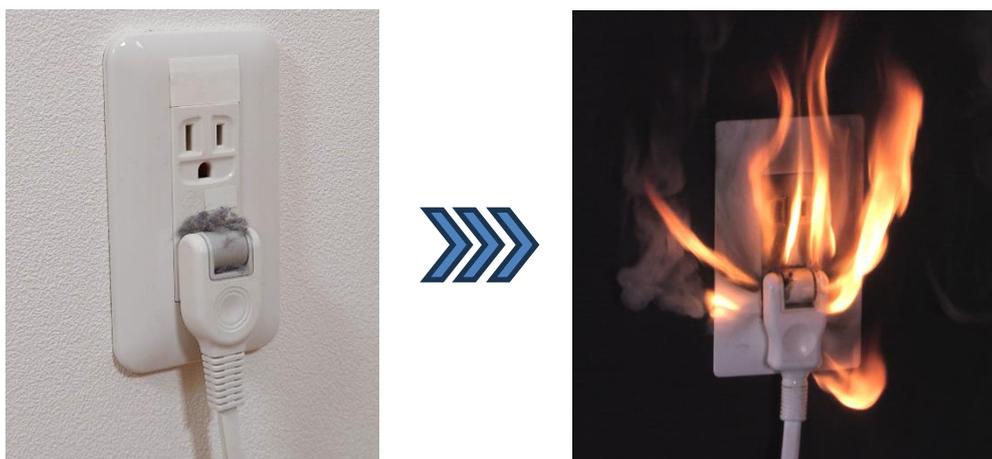
【事故の原因】

延長コードタップ部の刃受金具カシメ部と芯線の圧着が不十分であったため、延長コード定格上限の1500Wのハロゲンヒーター又はセラミックファンヒーターが使用されたことによりカシメ部が発熱し、芯線が接触していたタップの樹脂部分が炭化して絶縁低下し、出火に至ったものと推定される。

3. 配線器具関連の実験映像について

配線器具に関する実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。



ほこり等の付着によりトラッキング現象^{※3}が生じてコンセントが発火

(※3) 付着したほこりや水分によりトラック（電気の通り道）が生成され、異常発熱する現象。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所
担当者：三谷
電話：082-211-0411

以上